

商品の詳細は







米阪パイル織物株

営業時間:8:00~17:00 (土日祝除く)

2024 vol.22









ブギのように盛り上がれ

能登半島の激震で始まった我が国の 2024 年、世界に目を向けると総選挙イヤーである。ロシア、欧州連合(EU) そして米国が控えており世界中が岐路に立っ ているとも言えます。これに伴ってロシアでは、プーチンに対抗する候補者が暗殺されるなど噂が広まっています。人類の歴史を振り返ると、このような暗殺に よる支配の統制維持は紀元前2000年以上も前のエジプト王朝より記録があり、世界中でも無数に繰り返されており、第二次世界対戦後、世界が落ち着き、今の 平和な暮らしに辿り着きました。私達は歴史を学習して、この馬鹿げた過ちを繰り返さないようにしているつもりですが、一部の外国では、未だに戦争や暗殺等 の暴力によって、己の主権を押し通すことがまかり通っています。しかし、我が国でも貧困や苦しみの極みで肉親や我が子を毒殺等する痛ましい事件が後を絶ち ません。コロナ禍で生活が苦しいことは皆同じです。行動に移す前に、周囲の意見を聞きながら冷静に判断していただきたい。来年4月から大阪では55年ぶり に万博が開催され、これに伴ってインバウンドも増加中であり、関西では観光気運が盛り上がっています。流通業界では 2024 年問題もあり、空飛ぶ車の普及も 期待されます。コスト高の一因である流涌改革に繋がれば有難い。戦後の日本を盛り上げたブギのような明るい起爆剤の登場を世界中が

望んでいます!

カボスやユズ、ダイダイと並ぶ「じゃばら」って香酸柑橘類って聞いたことありますか?紀伊半島の山奥、和歌山県北山村に原生していま した。昭和 46 年、村民が子供の頃から慣れ親しんだ味を広めようと立ち上がったことが歴史のスタートです。名前は「邪(気)を払う」ことに由来し、村 では昔から天然食酢として珍重され、正月料理には欠かせない縁起ものでした。村内で唯一1本残ったじゃばらの木の持ち主である村民が、特産品化を呼び かけたのです。昭和47年、研究機関での品種鑑定を行った結果、じゃばらは国内はもとより世界に類のない全く新しい品種であることが判明しました。ド リンクやぽん酢、ジャムなど次々と加工品を開発、販売を始めました。順調かと思われたじゃばら事業ですが、そもそも知名度も無ければ、自治体である北 山村には販売のノウハウもありませんでした。売上は伸びず、毎年赤字。そんな中、毎年じゃばらを20キロ単位で何度も買い求める不思議なお客様がいま した。お客様にその使用方法について尋ねたところ、「子供が受験なので花粉症の薬を飲むと眠くなるのでじゃばらを薬代わりに毎日1個ずつ朝晩搾って飲 んでいる」と、驚いた回答がありました。これをきっかけに1,000人に及ぶモニター実験、岐阜大学の花粉症に対する効果が学会で発表 されるなどで、昭和54年の種苗登録から20年以上経過し、ようやく日の目をみることができたそう。このように紆余曲折を経て 現在に至っている模様。花粉症で悩んでおられる方は、一度試してみては?

今や世界中から人が日本にやって来ています。ですが、日本人には当たり前と思っていることが、 意外に高く評価されることがよくあり、日本の良さを改めて知る機会となります。一例を挙げる と、①電車やバスが時間通りに来てくれること。当たり前のようですが、海外ではそうではないらし い。②マナーが良い。たとえ被災地でも、飢えた人々が横入りせずきちんと一列に並んで配給の品を受け取る 姿。電車等の内外で整列したり、リュックを前に抱えたり、迷惑にならないよう配慮している姿。③トイレが 綺麗。温水洗浄便座の普及率は、日本は高い(一般家庭80%以上)。米国(10%未満)、中国(5%未満)。④ 物価が安い。⑤食の品質。和食は 2013 年にユネスコ無形文化遺産に登録されました。寿司や刺身などの生 魚を日常的に食べる文化は日本にしかありません。⑥治安が良い。外国では、怖くて夜に一人で外出できな いようです。②自動販売機が多い。外国では故障が多く、盗難等乱暴されることも多い。⑧コンビ

実。数が多いし、品数も豊富。一方で、①現金のみの店が多い、②英語が通じない、

③wi-fi 環境が整備されていない施設が多い等の不満もあるようです。